



野反湖（のぞり）

中之条町立六^く合^に中学校による シラネアオイの植栽・保全活動

吾妻森林管理署 森林技術指導官 中園 昭博
森林整備官 上村 武士

1. 背景及び目的



野反八間山のシラネアオイ群生地

上信越高原国立公園の特別地域及び野反自然休養林にある野反湖は、発電用ダムとして昭和31年に建設された人造湖であり、ダム湖に沈んだ、かつて自生していたシラネアオイ群生地を植栽・保全をするため、中之条町立六合中学校の全校生徒や野反自然休養林保護管理運営協議会会員の方々や、地元住民のボランティア等の方々によりシラネアオイの植栽・保全活動が平成8年から現在にわたって行われてきました。

【写真-1】

2. 中学生によるシラネアオイの植栽・保全活動

中之条町立六合中学校の全校生徒が行ってきた野反湖のシラネアオイ群生地の植栽・保全活動における取組を紹介します。

中之条町立六合中学校の全校生徒が、平成8年から学校行事として野反湖のシラネアオイの植栽・保全活動に参加することとなったのは、当時、2つの中学校が統合され、村内唯一の中学校となったのを機会に、地元住民の方々の協力を得て植栽活動が始まりました。最初は2年生を対象にシラネアオイの植栽・保全活動が始まり、平成11年には、3年生の学習として6月に「シラネアオイの花の見学」が加わり、これまで植栽し年月をかけて育った株に花の咲く様子を見ることで、これまでの諸先輩方の願いが実感できます。平成19年からは1年生の学習として「シラネアオイの苗掘り作業」を加えて全校生徒による取組が始まりました。

現在は、生徒の減少により、1年生、2年生合同で「シラネアオイの苗掘り作業」から「植栽活動・保全活動」を行っています。



六合中学校の生徒による植栽・保全活動
【写真-1】

3. 今後に向けて

最後に、六合中学校の全校生徒によるシラネアオイの植栽・保全活動は、地元野反のダム湖に沈んだシラネアオイ群生を復元する作業を行ってきた先人の努力や願いについて知ることができ、自然環境保護という問題を生徒自身のこととしてとらえる機会場の場となっています。

平成8年からの野反湖シラネアオイ群生地の保全活動により、*（六合中学校の生徒、教職員、野反自然休養林保護管理運営協議会、地元ボランティアによる植栽及び草刈り等長い年月にわたる継続した活動）、一時期は絶滅の危機にたたされた、シラネアオイを約8万8千本まで植栽し保全してきました。

今後も保全活動を継続し野反の自然を後世に残してほしいと思います。

シラネアオイ（白根葵）
学名：Glaucidium palmatum
Siebold et Zucc.

キンポウゲ科（シラネアオイ科として分けることも多い）シラネアオイ属の多年草の1種。深山の植物。日本固有種の1属1種である。